

2026 年 10 月 29 日

株式会社ゼンリン

株式会社ゼンリンデータコム

株式会社 Preferred Networks

ゼンリングroupと Preferred Networks が業務資本提携 「現実世界の変化」を捉える地理空間情報と AI を融合

ー将来予測・シミュレーションを活用した業界・業務特化型 AI サービスの共同創出へー

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:竹川道郎、以下ゼンリン)、株式会社ゼンリンデータコム(本社:東京都港区、代表取締役社長:清水辰彦、以下ゼンリンデータコム)および株式会社 Preferred Networks(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡野原大輔、以下PFN)は、高精度で時間軸を持つ地理空間情報とAIを融合し、現実世界の把握から予測、意思決定支援につなぐ新たなサービスの創出および事業化に向け、業務資本提携契約を締結しました。

また、本契約に基づき、ゼンリンおよびゼンリンデータコムはPFNによる第三者割当増資を引き受け、サービスの企画・開発から事業化まで中長期的な協業を推進します。

ZENRIN

**ZENRIN
DataCom**

**Preferred
Networks**

■業務資本提携の背景と目的

近年、生成 AI、マルチモーダル AI の急速な進化により、テキストや画像だけでなく、AI を活用して位置情報や時間的な変化などの多様な情報を横断的に扱えるようになりつつあります。一方で、現実世界の課題を解決するには、高品質なデータと業界や業務に関する専門的な知見を AI と融合させていくことが不可欠です。なかでも、土地、建物、道路、地形、交通、移動情報など場所に関する情報は膨大かつ相互に関連しており、その価値を十分に引き出すために、継続的に更新される信頼性の高いデータと、それらを理解・分析できる特化型の AI 技術の活用が期待されています。

ゼンリングroupは、長年にわたり現実世界を継続的に調査・更新し、地理空間情報として整備・蓄積し、提供してきました。こうした情報には、現在の状況だけでなく、街や地域が過去から現在までどのように変化してきたかという「変化の履歴」が含まれています。また、PFN は、AI 半導体、計算基盤、生成 AI 基盤モデル、プロダクト・ソリューションまで、AI に関わる幅広い技術を一貫して自社開発する技術力と、さまざまな産業の現場に実装してきた経験と実績があります。

本提携では、各社の強みを融合し、AI による地理空間情報の理解・分析・予測能力の向上を図ります。また、その基盤として、土地や建物、道路などに関する地物の属性・空間的な関係・時間的な変化を AI が扱いやすい形へと構造化・体系化し、情報の分析・活用を高度化することで、企業や自治体の意思決定を支援する AI サービスの創出を目指します。

■主な協業内容

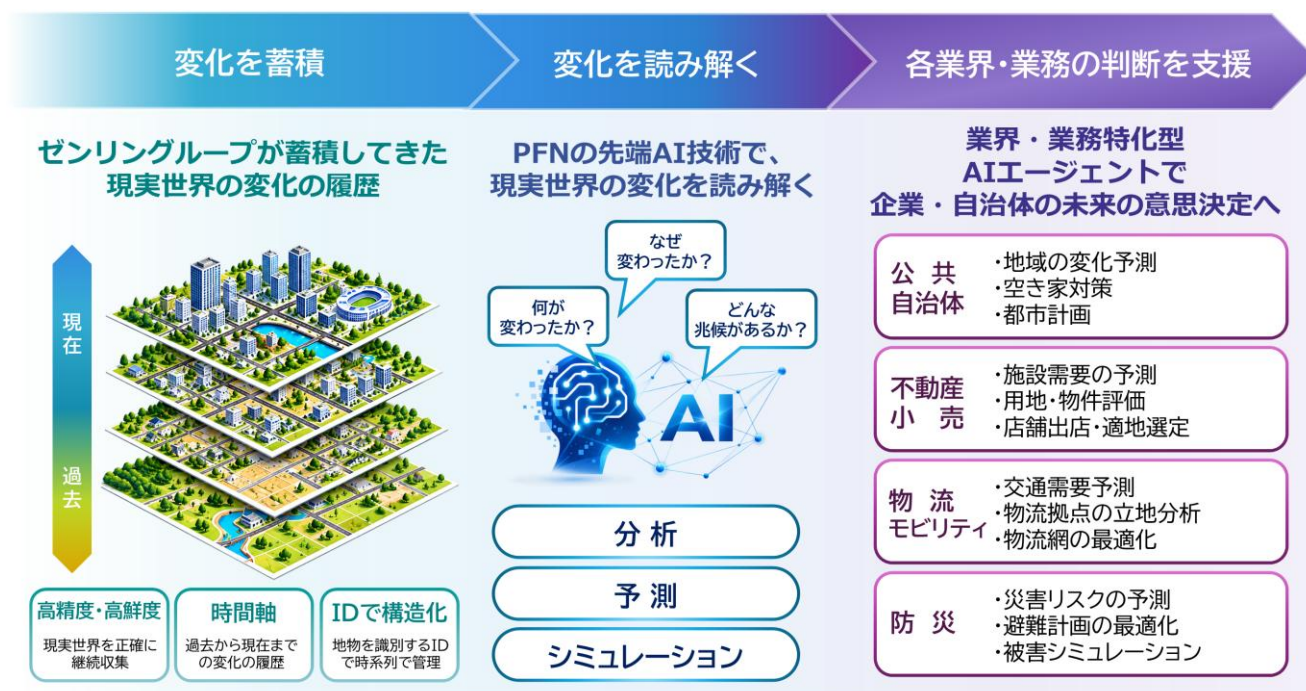
- 地理空間情報を活用した AI モデルの開発
- 業界・業務特化型 AI サービスの企画、開発、事業化
- 地理空間情報の AI 利用に最適なデータ環境、構造、意味体系の整備・高度化 (AI-Ready 化)
- 共通技術基盤の構築・高度化

■各社の役割

ゼンリン	地理空間情報、顧客・業界知見、顧客接点を活用したユースケースの具体化および事業化
ゼンリンデータコム	GIS・AI・サービス開発の知見を活用したサービス／システムの企画、開発、実装、運用
PFN	生成 AI、フィジカル AI、画像・3D 空間認識、予測・最適化などの研究開発力を活用した地理空間情報を理解・推論する AI モデルの開発、技術検証および高度化

■今後の展開

公共、不動産、小売・流通などの分野を初期の重点領域と位置付け、地域の変化や施設需要の予測、店舗出店計画・適地選定、都市計画・防災・物流分野におけるシミュレーションなどのユースケースを検討していきます。実証実験やサービスの共同開発を進め、その成果を企業や自治体の意思決定を支援するサービスとして事業化していきます。



■各社代表者コメント

株式会社ゼンリン 代表取締役社長 竹川道郎

ゼンリンはこれまで、現実世界の変化を継続的に捉え、地理空間情報として整備・蓄積するとともに、その情報を活用したサービスを通じて、お客様や社会が抱えるさまざまな課題の解決に貢献してまいりました。AI の急速な発展によって、その価値は大きな転換点を迎えています。これまで人が分析してきた膨大な情報を AI が理解・解析することで、人の目だけでは捉えきれなかった地域の変化や特性を見出し、企業や自治体の課題に対しよりの確に答えられる可能性が広がっています。

今回の PFN との提携は、こうした可能性を現実のものとし、地理空間情報の活用を次のステージへと引き上げるものです。生成 AI・LLM を自ら開発する PFN の技術と、ゼンリンが長年培ってきた情報資産を掛け合わせることで、これまでにないサービスを生み出してまいります。

本提携がゼンリングループの持続的な成長を大きく牽引するものと確信しています。グループの総力を挙げてこの取り組みを推進し、ゼンリンを、さまざまな業務の意思決定を支える存在へと進化させてまいります。

株式会社ゼンリンデータコム 代表取締役社長 清水辰彦

企業の DX や AI 活用が進む中、汎用的な AI ツールだけでは、「自社らしさ」や「現場のリアルな強み」を戦略に反映しきれないという課題が生じています。

今回の提携により、ゼンリングループが長年にわたり蓄積してきた日本全国の過去から現在にわたる膨大なデータ、PFN の先端 AI 技術、当社が数千件に及ぶお客様支援を通じて蓄積した知見を結集します。AI 活用が広がる今、インターネット上では得られないゼンリングループ独自のコンテンツや現場の知見に、お客様が保有する業務データを掛け合わせて深く分析する仕組みを構築することが、真の競争優位性につながると考えています。

各社独自のノウハウやデータを AI が活用できる形に構造化し、お客様ごとに最適化した AI モデルを開発・提供することで、実効性のある解決策を迅速に提案し、新たな価値の創出につなげてまいります。

株式会社 Preferred Networks 代表取締役社長 岡野原大輔

PFN が掲げる「現実世界を計算可能にし、共に未来を創り出す」というミッションは、ゼンリングループの「現実世界をライブラリー化する」という考え方と深く通じるものがあります。ゼンリングループが長年にわたり整備・更新してきた高品質な地理空間情報の価値を、PFN の AI 技術で最大限に引き出し、街や地域の特性と変化をより深く理解する AI の開発に挑戦します。PFN はゼンリングループとともに、現実世界の変化をとらえて将来を予測し、都市計画や防災など、企業や自治体の意思決定を支えるサービスを育てていきたいと考えています。

■各社概要

株式会社ゼンリン (<https://www.zenrin.co.jp/>)

代表取締役社長 竹川道郎

所在地:福岡県北九州市戸畑区中原新町 3 番 1 号

設立:1961 年 4 月

事業内容:

各種地理空間情報を収集、管理し、各種地図、地図データベース、コンテンツとして提供。また、『知・時空間情報』に付帯、関連するソフトウェアの開発・ソリューションサービスの提供。

株式会社ゼンリンデータコム (<https://www.zenrin-datacom.net/>)

代表取締役社長 清水辰彦

所在地:東京都港区芝浦 3-1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 22 階

設立:2000 年 4 月 13 日

事業内容:

地図・位置情報を活用した法人向けソリューションや、個人向けナビゲーションサービスの企画・開発・提供を行う。法人向けには、地図 API、GIS、位置情報ビッグデータ分析などのサービスを展開。

株式会社 Preferred Networks (<https://www.preferred.jp/ja>)

代表取締役社長 岡野原大輔

所在地:東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル

設立:2014 年 3 月 26 日

事業内容:

AI 半導体、計算基盤、生成 AI 基盤モデル、プロダクト・ソリューションまで、AI に必要な技術スタックを自社開発し、国産技術を軸にさまざまな産業の現場に AI 技術を展開。